写真提供：横浜マーチャンダイジングセンター

災害危険に抗するための企業の防災・危機管理とは…

企業の防災・危機管理シンポジウム

企業の防災・危機管理対策をいかに推進していけば良いか、また企業が防災で果たし得る役割にはどのようなことがあるか。企業の防災対策を推進するための方策を検討します。

第１部　基調講演

・温泉地学研究所　所長　里村幹夫氏「神奈川県の最近の災害環境等について」
・横浜市消防局　査察課長　山田裕之氏「企業防災の現状と課題」
・横浜国立大学先端科学高等研究院　ＩＡＳ教授　座間信作氏
「巨大地震が東京湾岸の石油コンビナートに及ぼす影響～特に長周期地震動について～」

第２部　事例報告とパネルディスカッション

・東京ガス㈱横浜支店　副支店長　美濃口謙二氏　「東京ガスの地震防災対策」
・(株)相鉄ビルマネジメント 業務部部長 荒巻照和氏　「相鉄グループと横浜駅西口の防災対策」
・横浜商工会議所　企画広報部部長 若林史郎氏　「横浜商工会議所が取り組む企業防災」
・横浜金沢区臨海防災協議会/(株)カレンズ 代表取締役　木村仁氏
「横浜市金沢区工業団地の防災及びＢＣＰの取り組み」

○パネルディスカッション司会：　時事通信社 解説委員　中川和之氏

○参加費：無料　　○定員：230 名（先着順）

○開催日時：平成27年2月24日（火）13:30～16:30

○開催場所：横浜情報文化センターホール（裏面参照）

○主催：文部科学省助成研究地域防災支援プロジェクト：
「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」運営委員会（代表　神奈川大学教授　荏本　孝久）

○後援：神奈川県温泉地学研究所、横浜市消防局、横浜市経済局、
横浜商工会議所、神奈川大学

○問い合せ先事務局：（株）防災・情報研究所（裏面参照）

主催者からのご挨拶

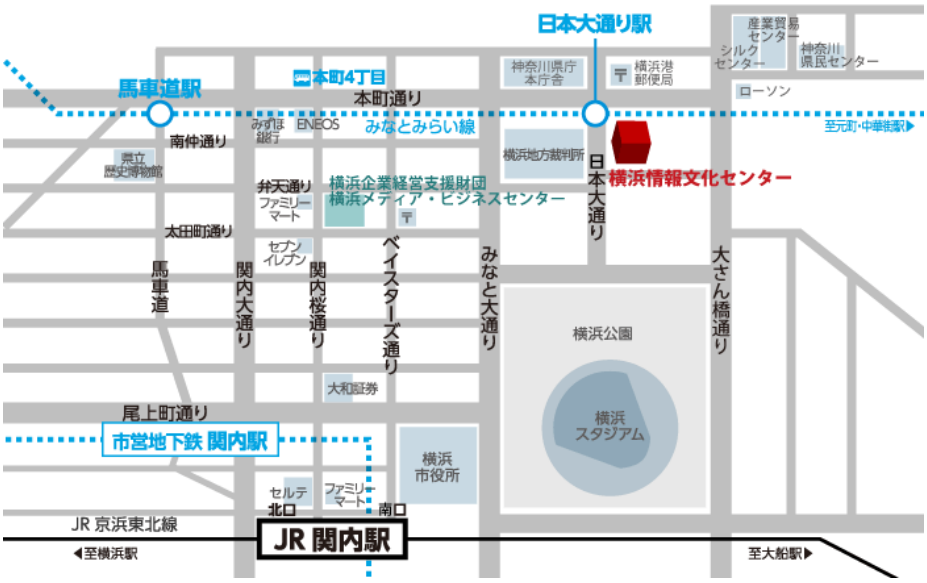
神奈川県は、大地震や風水害、火山災害などの災害危険が高い地域です。平成26年は広島豪雨災害や御嶽山の噴火、長野県北部地震などの災害が多発しており、神奈川県でも土砂災害が発生しました。　一方では、阪神・淡路大震災から20年、新潟県中越地震から10年、東日本大震災から約４年を経過した現在、どのように地震や津波災害に取り組むべきか、新たな課題も生じてきています。

「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」プロジェクトは、神奈川県下の地方自治体、企業、学校、研究者や地域の防災に取り組む方々を発掘し、支援する方々とネットワーク化することを目的として、文部科学省からの助成研究により平成25年から３年間の予定で実施してきています。

この度、企業・事業所の防災・危機管理対策をいかに推進して行けばよいか、また企業・事業所の果たしうる役割はどのようなことがあるか、首都直下地震や南海トラフ地震等の被害想定が出されている現状を踏まえ、現場で積極的に活動されている企業・事業所の方々と研究者、行政機関の方々に活発な意見交換をしていただくことを目的として開催致します。

ぜひ、皆様ご参加ください。

〇開催日時：平成27年2月24日（火）13:30～16:30
〇開催場所：横浜情報文化センターホール
〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 番地　TEL：（045）664-3737（代表）



http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/access.php

交通アクセス

●JR	「関内駅」南口	徒歩10分
●横浜市営地下鉄	「関内駅」１番出口	徒歩10分
●みなとみらい線	「日本大通り駅」3番出口	徒歩 0分

〇参加費：無料
〇定員： 230 名（先着順）

■問い合せ先：（株）防災・情報研究所
住所：〒103-0005　東京都中央区日本橋久松町4-10　イマス日本橋福山ビル２階
e-mail：idpis@idpis.co.jp　Tel：03-3249-4120　FAX：03-3249-7296